

学校林視察から

昭和37年頃から、学校林として山林を貸与していただき、そこに植林をして、杉などを育て、それを伐採して、そこから得たお金を学校のために使わせていただくという事業が行われてきた歴史があります。やがて外国からの材木が安価に手に入る時代となり、学校林を伐採する事業は行われなくなりました。しかし、PTAの事業として行われた歴史があり、現在も学校林として貸与していただく契約は継続しています。その頃中学生であり、実際に行ってきた元PTA会長嶺さんよりお声をかけていただき、学校林の視察に行ってきました。当日は、第17代校長の阿部先生や元PTA会長の太田さんも参加し、嶺さんの当時の様子などをお聞きしながら、学校林を見てきました。

